

平成 30 年 1 月 19 日

チーム関係者各位

横須賀ミニバスケットボール連盟
会長 土田匡明

「チームにおけるインフルエンザ対策ガイドライン」について
日頃より連盟活動にご協力いただき、ありがとうございます。
試合参加に際し、横須賀ミニバスケットボール連盟のガイドラインを下記のとおり提示いたします。ガイドラインの趣旨をご理解いただき、チーム内で適切な判断をしていただけますようお願い申し上げます。

1. 日常の活動において

- ① 指導者はチーム内に必ず、「うがい」、「手洗い」、「マスク着用」の励行を自ら範を示して促し、チーム内でのインフルエンザの予防と感染や流行を抑える努力をする。
- ② 指導者は、自分のチームにインフルエンザの感染者がいないかを絶えず把握する。

2. チーム内でインフルエンザを発症した場合（選手・指導者）

- ① 急な発熱や頭痛、全身倦怠、筋肉痛などの全身症状を発症したときは、他の人にうつさないようにマスクを着用して速やかに医療機関で受診する。
- ② チーム内に感染が広がらないように、復帰に際しては、自分たちの勝手な判断ではなく、医師の判断を仰ぐ。
- ③ チームの活動についてはチーム内の感染状況を鑑み、チームにて判断することとする。

3. 選手の所属する学校で、学級・学年閉鎖、休校措置がとられた場合

- ① 選手の所属する学級・学年が閉鎖、または学校が休校となった場合には、本人の体調不良の有無に関わらず、原則としてその期間中はチームの活動には参加しない。

4. その他

判断に迷うことがありましたら、横須賀ミニバスケットボール連盟理事長までご連絡ください。

以上